

# 令和2年度 事業報告（概要）

## 基本理念

みんなで作る「やさしさ」と「支えあい」のあるまち さいき

（地域福祉計画・地域福祉活動計画）

前年度末から流行した新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた各事業が中止および縮小しなければならない状況となりましたが、『今だからできること』を職員一丸となって取り組みました。

法人運営部門としては、黒字が2ヶ年続きましたので、6年ぶりに給料表の改定を行いました。あわせて、各種規程等の改正にも取り組みました。

また、令和3年度からの新規事業に備え、市民の皆さんが安心して相談できる体制を構築するため、新規職員を22名採用しました。

地域福祉部門においては、広報活動の見直しとして、若手職員が中心となり、社協だよりの編集研修、インスタグラムやFacebook等のSNSの活用を強化しました。また、ちびっこフェスティバルの代替え事業として、ひとしずくちゃんぬりえコンテストの開催、ふれあい・いきいきサロンでは手作りマスクの作成や介護予防体操のチラシ作成、更に、成年後見に関しては、市民養成講座を開催し18名の方が終了しました。

在宅福祉部門においては、地域包括支援センターの受託についての協議・調整のうえ、令和3年度開設にこぎつけることができました。

施設福祉部門においては、特養では年間平均96床、短期入所では1.5床とほぼ満床で推移できました。コロナ対策に徹した結果、インフルエンザの感染がなかったことは大きな成果と思っております。

今後も時の情勢に対処しながら、働きやすい職場を目指して、市民の皆さんが安心して暮らせるサービスを提供していきます。

## < 総務課 >

### 1. 理事会・評議員会等の開催

#### (1) 理事会

会議名	期日	議題
第1回理事会	5月27日	令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について 令和2年度第1号収支補正予算(案)について 評議員の推薦について 新理事(案)の提案について 評議員選任・解任委員欠員者の選任について 令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について 評議員会の開催について 地域包括支援センターの受託について
第2回理事会	6月26日	常務理事の選任について 評議員の選任について 令和2年度第2回評議員選任・解任委員会の開催について
第3回理事会	7月31日	地域包括支援センターの受託について 評議員会の開催について
第4回理事会	10月20日	職員給与規程の一部改正(案)について 嘱託職員給与及び報酬規程の一部改正(案)について 豊寿苑嘱託職員給与規程の一部改正(案)について 令和2年度第2号収支補正予算(案)について 評議員会の開催について
第5回理事会	3月16日	令和2年度第3号収支補正予算(案)について 令和3年度事業計画(案)について 令和3年度当初収支予算(案)について 定款の一部変更(案)について 再雇用嘱託職員給与規程の一部改正(案)について 会長、常務理事の報酬及び役員等の費用弁償規程の一部改正(案)について 社協が行う事業に伴う委員への費用弁償及び報酬規程の一部改正(案)について 常勤嘱託職員就業規則の一部改正(案)について 正規職員就業規則の一部改正(案)について 役員等賠償責任保険契約について 評議員会の開催について

## (2) 評議員会

会議名	期日	議題
第1回評議員会	6月12日	令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について 令和2年度第1号収支補正予算(案)について 理事の選任について
第2回評議員会	8月11日	地域包括支援センターの受託について
第3回評議員会	10月29日	令和2年度第2号収支補正予算(案)について
第4回評議員会	3月24日	令和2年度第3号収支補正予算(案)について 令和3年度事業計画(案)について 令和3年度当初収支予算(案)について 定款の一部変更(案)について 会長、常務理事の報酬及び役員等の費用弁償規程の一部改正(案)について

## (3) 評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会	5月28日	委員長の選任について 評議員の選任について
第2回評議員選任・解任委員会	7月14日	評議員の選任について

## (4) 監事による監査

監査名	期日	検査の範囲
内部監査	5月18日	例月出納監査(1月・2月・3月分)
決算監査	5月18日	令和元年度 会計決算監査
内部監査	8月20日	例月出納監査(4月・5月・6月分)
内部監査	11月19日	例月出納監査(7月・8月・9月分)
内部監査	2月16日	例月出納監査(10月・11月・12月分)

## (5) 各種会議等の開催

- ・管理職会議(年14回)
- ・課長会議(毎週)

## 2. 職員の資質向上への取り組み

新型コロナウイルスの影響により、外部研修への参加は大幅に減少したが、新任職員研修、職場内研修等を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

- 新任職員研修
- 認知症・介護予防研修
- 権利擁護研修

### 3. 法令遵守の取り組み

各種関係法令改定に伴い、関連する事業部の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守する取り組みを行った。

### 4. 社会福祉関係従事者等の顕彰

第8回佐伯市社会福祉大会（コロナ禍により中止）

○市社協会長表彰

・民生委員・児童委員特別功労者 24名 ・社会福祉事業関係功労者 1名

○市社協会長感謝状 ・6団体 ・個人1名

### 5. 事業計画、予算の立案、執行管理

事業計画・予算の立案、執行管理及び事業量を把握し、費用対効果を意識した予算ヒアリングに努めた。

### 6. 職場の環境整備及び雇用、人事・労務管理

- 1) 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。
- 2) 職員の健康管理のため、職場環境の改善や定期健診、ストレスチェックや健康相談の取組をおこなった。
- 3) 安全衛生委員会のもと、職員の安全・衛生管理に努めた。（本部・豊寿苑）
- 4) 介護事業所の職員不足、退職者の補充、新規事業のための職員採用を行った。

### 7. 中期的な財政基盤の確立に向けた取り組み

管理職を中心とした『作業チーム』により、懸案事項の協議を進めてきた。

・介護保険事業の取組方針 ・受託事業の検討 ・法人の基盤整備

○具体的改革の項目

①給料表の改定

②定款・諸規程の整備

③地域包括支援センターの受託について

④成年後見センター、被保護就労支援、就労準備支援の受託について

⑤指定管理施設の方向性について

⑥蒲江支部事務所の移転について

⑦直川地域の移送サービスについて

## 8. 社協会費の状況

《戸別会員の状況》

R3.3.31 現在

区分	金額 (円)			口数 (件)			納入率 (%)		
	30年度	元年度	2年度	30年度	元年度	2年度	30年度	元年度	2年度
佐伯	3,903,500	3,989,969	3,879,450	7,807	7,985	7,758	38.53	39.45	38.39
上浦	349,000	345,700	336,000	698	691	672	73.78	81.10	78.60
弥生	837,082	855,600	878,800	1,674	1,711	1,757	66.13	68.60	70.14
本匠	242,500	240,000	231,500	485	480	463	79.90	80.00	77.17
宇目	497,500	487,500	449,200	995	972	898	77.83	78.14	74.77
直川	334,000	339,000	320,500	668	683	641	88.59	90.95	88.41
鶴見	515,000	462,500	451,700	1,030	939	903	70.88	67.22	61.35
米水津	336,000	318,100	306,800	672	650	613	84.63	81.86	78.19
蒲江	855,090	805,310	783,615	1,710	1,503	1,567	53.52	47.79	51.92
合計	7,869,672	7,843,679	7,637,565	15,739	15,614	15,272	49.43	49.54	48.68

区分	金額 (円)			口数 (件)		
	30年度	元年度	2年度	30年度	元年度	2年度
賛助会員	104,000	129,800	155,000	208	259	310
団体会員	201,000	99,000	511,000	356	198	1,022

### <地域福祉課>

地域福祉活動計画に関連する社協の具体的な取り組み

#### ☆重点事業

- (1) 地域の課題に対して、不足するサービスを構築し、住民自らがお互いに支えあえる地域づくりを行う。
- (2) 生活困窮者に寄り添いながら自立に繋がる支援を多機関協働により行う。
- (3) 大規模災害に備え、住民、行政、社協が一体となり、広域的な支援活動と協力関係の拡充を行う。

### [I] やさしい心と人づくり

#### 1 地域の交流・ふれあいの推進

##### (1) ふれあい・いきいきサロン事業の推進 (市受託事業)

○高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し社会参加が保てるよう、レクリエーションや健康体操を取り入れて実施した。

・登録数 (156ヶ所)、休止 (9ヶ所)、廃止 (4ヶ所)

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江
合計数	47	2	32	7	17	13	11	8	19

##### ○ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

ふれあい・いきいきサロンを支える支援者の介護予防の知識習得、レクリエーションメニューの充実を図ることを目的に研修会を実施した。

①サロン協力者研修（年1回）

- ・次年度サロンの取り組みについて
- ・生活支援体制整備事業「地域づくり大作戦！」について

②支援員、お助け隊研修（年2回）

- ・コロナ禍の生活の変化が及ぼす高齢者への影響について
- ・オーラルフレイルってなに？ フレイルが及ぼす心身の影響と支援者としての関わりについて
- ・実技「からだを元気に PAPEPO ボール」について

③ノルディック運動お助け隊研修会（年1回）

- ・ノルディックウォークの活用事例、ノルディックウォークポールストレッチ方法について

○体力測定の実施 支援型サロン：92 サロン  
支援型サロンへの体力測定実施を積極的に行った。

(2) 子育てサロンの運営支援

○子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、情報共有や活動支援を行った。

- ・子育てサロン交流会・・・2月19日 講師：児童発達支援センターつぼみ

<子育てサロン登録数>

支部名	佐伯	米水津	蒲江	合計
登録数	7	1	1	9

(3) 子ども食堂立ち上げ・運営支援

○地域の方々からの食材の寄付を子ども食堂に分配する等、後方支援を行った。

○子育て世代だけでなく、様々な世代がかかわりを持ち、地域住民の『居場所』、『交流の場』として「つぼみ食堂」が活用できるよう支援した。

場 所：中道地区集会所 第1土曜日

(4) 児童館・放課後児童クラブの運営（指定管理事業）

①児童館の管理運営・・・（佐伯、上浦、蒲江）

②子育て支援事業の実施・・・（上浦、蒲江）

③放課後児童クラブの運営・・・（上浦、蒲江）

	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
児童館 延べ人数	7,228	2,072	2,453
子育て支援 延べ人数		118	
放課後児童クラブ延べ人数		1,575	5,017
合計	7,228	3,765	7,470

(5) 地域行事への支援

○地域で行われる行事等への事業費の助成や必要な物品の貸し出しを行った。

①地区社協活動への助成や人的物的支援

20 地区社協への助成 4,003,000 円

地区社協名	主 な 活 動 内 容
佐 伯	さいき元気っ子クラブ支援 (コロナ禍により中止) 佐伯児童館行事支援、グラウンドゴルフ大会 配食サービス、
佐伯東	広報誌「きずな」発行 (コロナ禍により中止) 配食サービス、ほのぼの作品展、ほのぼのお月見会 視察研修
渡町台	(コロナ禍により中止) ひまわり文庫まつり、とまちっこ子どもまつり 配食サービス、ふれあい公民館まつり 会報「ときめき」発行
鶴 岡	福祉教室、サロン支援、トトロの広場事業、シルバーと子どもの集い ほのぼのネット事業(令和2年度より廃止-緊急情報キットに適用) (コロナ禍により中止) 視察研修
上堅田	福祉研修会、ふれあい広場(展示のみ) (コロナ禍により中止) 健康づくり歩こう会、こども祭り、給食サービス
大入島	救急救命講習会、災害ボランティア研修会(石間地区)、愛のおたより (コロナ禍により中止) 視察研修、給食サービス
八 幡	給食サービス (コロナ禍により中止) 社協・健康まつり
西上浦	視察研修(杵築市) (コロナ禍により中止) ふれあい夏祭り、西上浦健康まつり、ひな弁当配布 彦嶽登山大会
下堅田	ふるさとふれあい広場(展示のみ) (コロナ禍により中止) 配食サービス、視察研修、鮎かけの集い ふれあい料理教室、愛の正月もち配布
青 山	配食(弁当・餅)サービス、黒沢ウォーク、青山生活支援ボランティア研修会 (コロナ禍により中止) 青山ミニミニ農業祭、どろんこバレー
木 立	配食サービス、子育てサロンクリスマス会、 (コロナ禍により中止) 盆踊り大会、元越山登山会、ハロウィン、敬老会 ふれあい公民館まつり
灘	グラウンドゴルフ大会、シニアグラウンドゴルフ大会、ふれあい食の事業 ミニバレーボール大会、給食サービス、子ども会活動、「姫楽の会」の活動 (コロナ禍により中止) 健康づくり体操
上 浦	車椅子設置事業 (コロナ禍により中止) ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会 地区社協視察研修、生活支援ボランティア講座
弥 生	こども園との合同芋掘り会、独居高齢者・高齢者世帯クリスマスプレゼント 配布事業、地区社協広報誌発行
本 匠	歳末もちつき事業、ふれあい配食サービス事業、健康教室、学校整備事業・ みずぐるまの活動支援
宇 目	ふれあいの集い(独居高齢者へお茶配布)、あんしん見守り隊啓発活動、地 区社協だより発行、グラウンドゴルフ大会(老人クラブ)にお茶提供、宇目つ くし隊支えあい活動(生活支援体制整備事業)、チャイルドシート・車椅子 の貸出
直 川	高齢者クリスマス配食の配達支援、お元気ですか絵手紙配付事業(暑中・年 賀)、地区社協だより、小学生とのお茶摘み交流体験、避難所訓練への参加
鶴 見	地区スポーツ大会助成事業、歳末福祉もちつき大会、住民たすけあいサービ スの実施

米水津	ふれあいスポーツ大会、生活支援サービス（たすけ愛隊）の実施
蒲江	福祉関係者研修会、蒲江安全安心マンボウ隊（見守り活動） （コロナ禍により中止） ふれあい交流グラウンドゴルフ大会、ふれあい給食サービス

②イベント用品や防災訓練備品等の貸し出し

○地区社協のイベントや防災訓練等に貸出し

	綿菓子機	かき氷機	防災訓練備品	計
貸出件数	1	7	1	9

○レクリエーション用品の貸し出し

サロン、子育てサロン、地区社協のイベント等で活用した。

	佐伯	弥生	蒲江	計
貸出件数	22	1	6	29

2 福祉意識の醸成

(1) 社協ちびっこフェスティバルの開催

○子どもたちに遊びを通して福祉を学んでもらい、体験を通じて福祉意識の醸成を図る。

①ちびっこフェスティバル（コロナ禍により中止）

(2) 福祉体験プログラムの実施

学校や事業所等での福祉体験教室の開催 延べ 15 回 参加者 499 名

	佐伯支部	弥生支部	宇目支部	米水津支部	蒲江支部
車いす体験	彦陽中 佐伯南中 木立小			米水津中	蒲江翔南中
アイマスク体験	彦陽中 佐伯南中			米水津中	
高齢者疑似体験				米水津中	蒲江翔南中
手話体験		弥生(児)			
点字体験			宇目(児)		
地域資源の講話			宇目緑豊中	米水津中	
盲導犬体験	木立小				
フラワーアレンジメント (高齢者福祉施設へ寄付)			宇目緑豊中		

(3) 福祉スクールの開催（弥生支部）

○弥生のジュニアスクールと連携し、地区内の小学生を対象として福祉体験（車いす体験、福祉車両の体験）を行った。参加者 23 名

(4) その他

○社協事業のPRと地域課題について住民との意見交換を行った。

①寄り合い座談会の開催（米水津支部） 大内浦 15 名



- ②小地域での懇談会の開催（蒲江支部） 葛原浦 10名、小蒲江 10名
- ③米水津支部だよりによる広報「よのうづの輪」を年間4回発行 延べ480部
- ④第15回 大分県地域福祉推進大会への参加

- ・日時：10月16日（金）
- ・場所：別府市「ビーコンプラザ」
- ・表彰

県知事表彰	県知事賞	県知事感謝状	県社協会長表彰	県社協会長感謝状	県老連会長表彰
1団体	1団体 個人1名	2団体	個人1名	1団体	個人2名

⑤ひとしずくちゃんぬりえコンテスト（4回）

ちびっこフェスティバルの中止に伴い、代替え事業として実施。

コロナ禍でもできる親子イベントとして、4児童館協力のもと親子の触れ合いと福祉意識の醸成を図った。

### 3 ボランティア・NPO等の育成

#### (1) ボランティアの活動啓発・支援

- ①ボランティアセンターを設置し、コーディネーターを配置した。
- ②ボランティア団体・保険加入状況

（令和3年3月31日現在）

社協で把握している団体数	63団体 2,165名 ※ 内ボランティア連絡協議会加入 23団体	
ボランティア保険加入状況	2,207名	活動者の傷害、賠償補償保険
ボランティア行事用保険加入状況	30件	行事ごとに加入するボランティア保険 （うち配食サービス25件）
事故対応	1件	活動中の事故に対する保険申請
福祉サービス総合補償加入状況	6件	佐伯市社協、米水津地区社協、青山地区社協、宇目つくし隊、畑野浦生活支援隊、竹野浦河内カントリー支援隊
送迎サービス補償加入状況	1件	直川

#### ○相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談・支援と活動機会の提供及び、コーディネートを行った。

- ・ボランティアの募集 3件
- ・ボランティア活動のマッチング 3件
- ・上記以外の相談受付、情報提供 26件

#### ○収集ボランティア、手芸ボランティア活動の推進

- ①発展途上国への医療支援等のために使用済み切手等を収集し発送した。

②手芸ボランティア活動は、毎月2回小物等を作成した。

- ・テーブルクロス・コースター・高齢者疑似体験靴

○佐伯市ボランティア連絡協議会への事務支援

佐伯市ボランティア連絡協議会に対して、その事務局を担当するとともに総会や理事会、研修会等運営に関する支援を行った。

- ・県ボラ総会、佐伯市ボランティア連絡協議会総会は新型コロナで中止。  
理事会（年3回）実施、災害ボラセン会議1回参加、交流会は11月に実施。

○ボランティアに関する広報を行い、ボランティア意識の啓発を実施した。

①ボランティア広報紙「ぼらの樹」の発行 93部

②ボランティア関連情報をホームページに掲載

(2) 生活支援ボランティア講座の開催（地域づくり大作戦）

○高齢者の「ちょっとした困りごと」を支えるボランティアの養成を行った。

- ・「話し相手がない」「話を聴いてほしい」という地域の声を受け、傾聴ボランティア養成講座を実施した。（全2回 18名参加）
- ・生活支援ボランティアとして活動をしている方に対し、市内他地区の活動状況報告や悩みの解決策を一緒に検討をした。

(3) ボランティア手帳の発行

○中学生、高校生ボランティア活動啓発事業の推進

- ・希望する中学生・高校生にボランティア手帳を配布した。  
※令和2年度は夏ボラ中止のため中高生に配る機会が減少。

(4) NPO・企業ボランティア団体との協働の推進

- ・企業ボランティア団体からボランティアについての相談を受けた。

(5) 夏のボランティア体験事業（コロナ禍により中止）

(6) 各種ボランティア講座の開催

- ・傾聴ボランティア養成講座の開催 2日間 参加者18名

(7) ボランティア団体の支援

- ・施設からの依頼でボランティアマッチング（依頼3件 ボランティア2名）

4 関係団体の活動促進

(1) 民生委員児童委員協議会の活動促進

○住民に一番近い立場で活動する民生委員児童委員の活動支援を行った。

①市民生委員児童委員協議会の事務支援

②民生委員児童委員の活動支援

- ・緊急キットの更新作業、PR活動
- ・おめでとう訪問事業（主任児童委員の支援） 285件

(2) ボランティア連絡協議会の支援

- 理事会3回、総会(書面決議)、防災研修会

(3) 地区社協の活動支援

- 地区社協会長、事務局長会議の開催

(4) 老人クラブ連合会の支援（市受託事業）

- ①佐伯市老人クラブ連合会 54クラブ 1,900名加入

- ・理事会 3回 評議員会 1回(書面決議)
- ・スポーツ大会(全域) ※コロナ禍により中止
- ・佐伯市老人クラブ大会 11月26日 さいき城山桜ホール 200名参加

区分	市老連会長表彰 会長永年勤続賞	市老連会長表彰 会員功労賞	米寿	白寿
受賞者数	7名	19名	97名	1名

- ②佐伯市老人クラブ連合会佐伯支部 23クラブ 508名加入

- ・理事会 3回 会長会 3回 ・スポーツ大会 (コロナ禍により中止)

[II] 支えあう地域づくり

1 地域のネットワークづくりと支えあい活動の促進

(1) 地域福祉ネットワーク事業の推進

①緊急情報キット連絡会による情報共有と連携の強化

- ・佐伯警察署、佐伯消防署、佐伯市民児協、行政機関との緊急情報キット活用事例の情報共有を行い、必要性を再確認した。7,831世帯

②生活困窮者支援連絡会議(コロナ禍により中止)

③福祉推進員による見守り活動の推進(蒲江支部)

(2) 地域づくり大作戦(市受託事業:生活支援体制整備事業)

①生活支援コーディネーターの配置

- ・第1層(全市対象) 1名
- ・第2層(旧市内、旧町村) 17名

②第1層協議体(高齢者にやさしい地域づくり協議会)

- ・7月30日 令和2年度生活支援体制整備事業の取組について
- ・11月7日 生活支援体制整備事業の取組について、地域課題について

③地域ケア会議への参加

- ・年 14 回参加し、地域課題の把握に努めた。

④ケアマネジメント支援会議への参加

- ・年 24 回参加し、地域課題の把握に努め、多職種専門職との繋がり構築に努めた
- ・生活支援サービスの実施（大入島・青山・木立・本匠・宇目・鶴見・米水津・蒲江）
- ・高齢者等の日常生活における「ちょっとした困りごと」への支援として、住民主体による生活支援サービスを実施した。

大入島 14 件 木立 4 件 本匠 26 件 宇目 141 件 鶴見 66 件 米水津 89 件  
蒲江 48 件（畑野浦生活支援隊 35 件）、（竹野浦河内カントリー支援隊 13 件）

⑤地域拠点の支援：鶴見地区「さざなみ」

誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ（生活支援ボランティア）  
が中心となり、さざなみの運営を支援した。参加者 249 名

⑥地域拠点の支援：佐伯地区「チェアー」

地域の健康体操の居場所「チェアー健康体操」の運営を支援した。  
佐伯市内 3 か所 毎月 2 回（コロナ禍等の影響により中止あり）  
登録者（新女島 11 名・女島 24 名・床木 10 名）

⑦地域資源マップ・社会資源リストの更新

ふれあい・いきいきサロンの実施場所について、見守りシステムに基本情報を  
更新した。

(3) フードバンクおおいたの協力

- ・家庭で消費されない食料品の寄附を受け生活困窮者の支援に活用した。  
利用延べ人数：132 名
- ・フードドライブを 2 回実施し、お米・缶詰・海苔・調味料等を集めることが  
できた。

(4) 共同募金委員会の運営

○佐伯市共同募金委員会事務局を担い、地域福祉活動の財源となる共同募金（赤  
い羽根募金、歳末募金）の募金活動を行った。

①赤い羽根共同募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	13,460	6,348,982
街頭募金	1	11,998
学校募金		
職域募金(バッチ募金等)	151	63,960
個人募金	7	4,150
その他(預金利息等)	5	9,189
募金合計	13,624	6,438,279

※ 募金総額の概ね 60%が、令和 3 年度地域福祉事業の財源として助成される。

②歳末たすけあい募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	18,712	3,678,220
街頭募金		
法人募金	9	73,000
学校募金	2	100,305
職域募金	7	91,864
イベント募金		
個人募金	1	8,832
その他(預金利息等)	2	1,434
募金合計	18,733	3,953,655

○運営委員会で助成方針を協議し、助成申請を公募し、団体助成・歳末事業に重点を置き、活動助成を行った。

項目	件数	金額
福祉団体助成	81	3,203,604
歳末募金配分経費		297,000
助成合計	81	3,500,604

○共同募金運営委員会の開催

	期日	議題
第1回	6月29日	令和元年度共同募金報告 令和2年度共同募金目標額について 令和2年度歳末たすけあい募金配分指針について
第2回	11月13日	令和2年度赤い羽根募金中間報告について 歳末たすけあい募金本部・支部助成について 歳末たすけあい募金公募事業助成の審査について

2 活動拠点の確保

(1) 佐伯市社会福祉センター・地域福祉センターの運営(指定管理事業)

○地域福祉事業推進の拠点として、ボランティア、健康づくりや生きがいくくり、各種福祉の研修の場として、地域福祉推進の役割を担った。

①佐伯市社会福祉センター	1,076回	6,958人
②上浦地域福祉センター	6回	74人
③直川地域福祉センター	44回	696人

(2) 地域の寄り合い所の確保・運営支援(地域づくり大作戦)

○高齢者(地域住民)の居場所・地域拠点の支援(鶴見支部)

誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ(生活支援ボランティア)が運営する「さざなみ」の活動を支援した。週1回 利用者249名

・通いの場(体操教室) 年37回 参加者249名

(3) ボランティアの拠点の確保

- ・ボランティア団体の活動を促進するため、誰もが利用しやすい拠点の確保の検討を行う。

[Ⅲ] サービスを利用しやすい仕組みづくり

1 情報提供の充実

(1) 広報等による情報提供

○社協の福祉活動や地域の福祉活動をタイムリーに広報した。

①社協だよりの発行（全戸配布・年間6回 発行部数 32,400部/回）

② ホームページ・フェイスブックによる情報発信

- ・地域住民に社協の活動をより詳しく知ってもらい、新しい福祉情報を提供するため、ホームページの更新・管理運営を行った。 アクセス回数 19,366回

③ケーブルテレビによる事業発信（随時）

④「ひとしずくちゃん」による広報

- ・イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」による社協PR
- ・社協事業やイベント・児童館などに出向き、地域住民とのふれあいや広報活動を行った。
- ・ひとしずくちゃん自動販売機6台

⑤米水津支部だより「よのうづの輪」の発行 年間4回 延べ480部

⑥その他

- ・佐伯鶴城高校の「地元企業魅力説明会」に参加し、地域福祉活動を紹介した。

2 相談支援体制の充実

(1) 弁護士による無料法律相談会 年間15回 131件

(2) 民生委員による心配ごと相談会

- ・佐伯 5回 4件
- ・蒲江 3回 10件

(3) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

①生活困窮者自立支援事業

ア.生活に困窮している方に、自立した生活ができるまで継続的な支援を行い、特に今年度は、新型コロナウイルスの影響で減収した世帯に対して相談支援を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談	57	112	69	58	48	52	37	20	22	36	45	71	627
継続相談	69	128	188	182	169	154	165	161	129	147	189	299	1980
プラン数	3	0	0	3	0	3	1	3	2	3	3	2	23
就労者数	2	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	7

イ. 支援調整会議・支援連絡会議の開催

支援調整会議を開催しプランについて協議し、関係機関との連携に努めた。

支援調整会議：10回 支援連絡会議：中止

ウ. 就労支援、無料職業紹介所の開設

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
履歴書添削	2	0	0	0	2	0	1	0	0	1	2	0	8
ハローワーク 同行支援	4	0	2	1	3	0	1	0	0	1	0	0	12

エ. 無料職業紹介所の実績

実績なし

オ. 愛のひとしづく事業による食料品等の支援

歳末たすけあい募金の助成を受け、相談過程における生活困窮者に商品券を支給した。 利用対象者：20名 総額：60,000円

カ. フードバンクを活用した食料支援

相談過程において、食べる物に困っている世帯に当面の食料品を支給した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用延べ人数	14	8	6	10	10	11	9	12	7	20	7	18	132
提供した食品	米、缶詰、レトルト食品、カップ麺、即席麺等の食料品												

キ. 衣類バンク事業による支援

相談者の清潔保持や就職支援（面接）等で必要とされる衣類を支給した。（4名）

ク. ほっとc a f eの開催

相談過程におけるひきこもりや就労に支援が必要な方々を対象にカフェを開催し、生活リズムの改善、コミュニケーション能力の育成、集いの場の提供、ひきこもりからの脱却などを目的として実施した。 開催：11回 延べ人数：54名

ケ. きずなファームの実施

民間所有者の畑の一部を無償で借り、就労体験や居場所づくりを目的として農作業体験を実施した。そこで収穫した野菜を使って10月に「キッチンきずな（調理実習）」でカレーづくりを行った。

※ じゃがいも、人参、タマネギ、さつまいも、大根、ニンニク等の栽培

コ. ひきこもり脱出作戦会議の開催

市内の精神科医及び障がい者相談支援センターと連携し、ひきこもり者へのアプローチ方法を検討した。 開催：2回

サ. きずなレターの送付

ひきこもり者や就労準備段階の人たちを対象に、「ほっとカフェ」や「きずなファーム」の案内や年賀状等、手書きのお便りを郵送し、アプローチを行った。特に今年度はコロナ禍で積極的に活用を行った。 延べ送付者数：66名

シ. ワークチャレンジ事業（コロナ禍により中止）

就労した経験のない方や職業生活にブランクのある方などを対象に就労意欲の向上や自立をはかるために、就労体験を行う事業だが、今年度はコロナ禍で体験を中止した。

ス. おおいたくらしサポート事業の連携

市内の「おおいたくらしサポート事業」を実施する施設と協働して「おおいたくらしサポート事業佐伯地区連絡会議」の開催を行った。

セ. 広報活動

- ・PRカードの作成 3,000部
- ・「社協だより」に毎号掲載（年6回）
- ・ホームページへの佐伯市くらしサポートセンター「きずな」活動状況の掲載

(4) 社協職員による総合相談事業

○社協職員による保健・福祉全般にかかわるワンストップの相談体制

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	64	71	83	17	44	94	37	4	22	436

○相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
生計問題	13	相続・財産問題	6
年金問題	0	事故問題	0
金銭問題(貸借・多重債務など)	2	人権相談	0
離職による相談	0	児童福祉関係	1
住宅問題	19	教育・青少年関係	0
家族問題	0	障がい者・児関係	2
結婚問題	0	老人福祉関係	337
離婚問題	0	父子・母子関係	0
不貞行為・慰謝料	0	苦情相談	1
健康・医療・介護問題	9	その他	31
近隣トラブル・境界線	15	合計	436



(5) 地域包括支援センターブランチ事業（市受託事業）

○支部に配置された地域福祉担当者が、高齢者宅を訪問し個別の相談に応じ又は生活動作や体調の変化を地域包括支援センターに報告した。

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉サービス相談(保険外)	41	日常生活支援相談	16
介護保険関係(申請相談等)	75	認知症に関する相談	32
虐待に関する相談	1	見守り・安否確認	2,727
		その他	172
合計			3,064

(6) 資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業の実施

・低所得者等への資金の貸付

資金種類	新規貸付件数	金額
福祉資金・福祉費	2	1,590,000
緊急小口資金	9	560,000
合計	11	2,150,000

②生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付事業の実施

・新型コロナウイルスの影響を受け減収した世帯への資金の貸付

資金種類	貸付件数	金額
緊急小口資金	340	65,830,000
総合支援資金	453	241,750,000
総合支援資金延長	182	96,347,000
総合支援資金再貸付	39	21,750,000
合計	1,014 (うち外国人 72)	425,677,000

③小口資金貸付事業の実施

・低所得者等への資金の貸付

資金種類	新規貸付件数	金額
生活資金	3	110,000
つなぎ資金	1	20,000
合計	4	130,000

3 福祉サービスや健康づくり事業の充実

(1) 高齢者福祉サービスの充実

○お洗濯支援事業（宇目支部）

・コインランドリーの管理運営と大きな洗濯物の洗濯代行サービスの実施

洗濯機	721回
乾燥機	2,892回
洗濯代行サービス	2回

(2) 独居世帯への相談・見守り・終活などの支援

○困った時の相談や入退院時のお世話等、今と将来の不安を解消する仕組みづくりを検討する。(今後は、成年後見制度と合わせて検討)

(3) 毎日型配食サービス (上浦支部) 16,632 食

(4) 障がい者福祉サービスの充実

①福祉機器の貸出 (貸出件数)

福祉器具	佐伯	弥生	宇目	米水津	蒲江	合計
車イス	17	1	4	1	2	25
福祉体験用品	3					3

②移送サービス事業 (宇目支部)

・ボランティアとの協働で移動が困難な方の送迎サービスの実施(今年度依頼なし)

(5) 子育て支援サービスの充実

①チャイルドシート貸出事業 (宇目支部)

・貸出件数 7件 ・保有台数 チャイルド用 3台 ベビー用 2台

②上浦子育て支援事業 (上浦支部) 118名

(6) 健康づくり事業の充実

○高齢者の介護予防としての健康づくり事業

①「通りゃんせ」事業 (佐伯支部) 参加者 延べ48名

ノルディックウォークを通じて仲間づくりや体力づくりを行い、健康寿命を延ばし、地域で元気に暮らす事を目的とする。

・6月(1回)より毎月2回実施予定 (コロナ禍により中止あり、年間16回実施)

②「通りゃんせぶらす」事業 (佐伯支部) 参加者 延べ44名

「通りゃんせ」事業のフォローアップ事業としてノルディックウォークを、楽しみながら、健康意識・きずな・体力づくりの継続を目的とする。

・6月より毎月1回実施予定 (コロナ禍により中止あり、年間8回実施)

③元気アップ事業 (上浦支部) 参加者 延べ500名

上浦ふれあいプラザを会場とし、経験豊富な健康運動実践指導者によるストレッチ、筋力トレーニング、有酸素トレーニング、ヨガ等を取り入れた介護予防運動プログラムを毎月8回実施。

④このゆびとまれ事業 (宇目支部) 参加者 延べ173名 (14回/年)

体操やノルディック・ウォーキング、レクリエーション、おやつ作り等を通して、健康・介護予防に関する意識の向上、身体機能・精神面の向上を図った。

- ⑤シニア世代元気事業（直川支部） 参加者 延べ703名（96回/2カ所）  
シニア世代を中心に健康寿命を延ばす事を目的として、ストレッチ体操等の介護予防への取り組みを行った。さらに地域に住む同世代と交流する事で、地域への関わりが増え、活動の範囲を広げることへとつながった。

#### 4 権利擁護体制の充実

サービス利用に関わる権利擁護体制の整備

##### (1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

○判断能力が低下した方への福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類の預かりサービス

- ・新規契約件数 35件 ・解約件数 13件

日常生活自立支援サービスの契約件数										
支 部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合 計
契約件数	82	6	6	5	1	1	2	0	9	112

##### (2) 成年後見制度の利用促進

○裁判所主催の定例会議に市担当者とともに出席し、成年後見センター設置に向けた進捗状況の説明や課題共有を図った。

○市民後見人養成講座の開催

- ・10日間 18名受講

### [IV] 安全安心なまちづくり

#### 1 地域ぐるみの防犯・防災対策の推進

##### (1) 災害ボランティアセンターの設置・運営

○大規模災害が発生しなかったため設置・運営なし。

##### (2) 地域防災講座への協力（講師派遣）と防災事業の実施

○地区社協や自治会等への講座実施

###### ①地域防災訓練等への協力

- ・大入島地区、直川ことぶき大学学習会、鶴見地区へ防災研修会等の支援を行った。

###### ②宇目地区防災研修の実施（宇目支部）

災害が発生した時の対応や避難所生活について講話を行った。また、災害に備えて簡易パーテーションや簡易担架づくり等の体験を行い、防災に対する知識を深めた。  
参加者：16名

###### ③直川地域防災連絡協議会への協力（直川支部）

大規模災害に備えて、地区住民を主体とした組織（直川消防団・社協・赤十字・直川ボランティア等）が出来上がり、非常時に備えた避難所訓練（避難所設営、パーテーション作り、簡易トイレ作り等）を実施した。 11/8 赤木地区 50名

#### ④地域防災力向上事業への協力（蒲江支部）

丸市尾地区で南海トラフ地震を想定した避難訓練の支援・避難支援プラン（11件）の見直し、支援体制を整備した。また、「より迅速な避難誘導」を目指す仕組みとして「黄色いハンカチ作戦」を確立し、申合せを行った。

#### ○企業防災講座等の実施

・やつか眼科、日本文理大付属高等学校で防災研修を行った。

#### （3）防災教育プログラム事業の実施

○体験を通じ防災意識を高めるため、児童・生徒を対象にした防災教育プログラムの実施（佐伯支部）

・鶴岡小学校4年生 12/16 80名参加

#### （4）災害ボランティアネットワーク協議会の運営 参加者 26名

○佐伯市災害ボランティアネットワーク協議会（31団体）

・平時から「顔の見える関係づくり」を目的として会議を開催。  
・各団体の紹介と災害ボランティア設置・運営について情報を共有した。

#### （5）災害支援に対応できる職員の育成

○災害ボランティア運営リーダー研修への参加

県社協が実施する研修に職員5名が参加し、大規模災害に備えるための必要な知識や技術などを学んだ。

①被災地への現地派遣 令和2年7月豪雨（日田市天ヶ瀬）

・天ヶ瀬災害ボランティアセンターの運営支援として佐伯市社協から職員を派遣、現地のセンター支援を行いながら、運営スキルの向上に努めた。

派遣職員数4名 派遣日数1日

②被災地へのボランティア活動

令和2年7月豪雨で被災した家屋の泥出し等、ボランティア活動を行った。

職員数6名 活動日数2日

#### （6）防災標語づくり（弥生支部）

○『みんなで考える防災標語』として、H30、H31に募集した防災標語を用いて弥生児童館協力のもと、防災カルタを作成した。防災に関連したイラストを描いたり、ぬり絵をしたことで防災への備えの意識づけにつながった。

#### （7）緊急情報キット事業

・高齢者等が万一倒れた時のために、かかりつけ医や薬等の情報を筒に入れ冷蔵庫に保管するキットを配付及びデータの更新作業を行った。7,831世帯  
・48件が緊急時の消防の対応に役立った。

#### （8）高齢者や子どもの見守り活動の見守りの推進

○地域で行われる見守り活動の支援協力を行った。

- ①宇目あんしん見守り隊活動の支援（宇目支部）  
子どもや高齢者を『自然なかたち』で見守ることができるよう、各関係団体へハガキを通して見守り活動の啓発をした。 107 件
- ②配食サービスによる見守り（上浦支部） 延べ 16,632 回
- ③地区社協配食サービスによる見守り支援 延べ 378 回
- ④蒲江マンボウ隊の見守り活動支援（蒲江支部） 延べ 18 回
- ⑤福祉推進員による見守り（蒲江支部） 19ヶ所  
・ふれあいサロンでボランティアとして参加者の見守り、活動支援等を行った。

## 2 誰にでもやさしいまちづくりの推進

### (1) 新たな移送サービスの検討

- 地域課題として高齢者の移動の心配が多い中で、多機関、専門職の連携による新たな移動の仕組みを検討。
- ・直川地区の移送課題となっていた、老人クラブのバスの送迎課題の解決に向け、関係者による協議を重ねた。また、直川地域のコミュニティバスの今後の運行方法について、意見交換と情報共有を図った。

## [V] その他の事業

### (1) 社協の自主財源の確保の取り組み

- ①本会の行う各事業において、社協旗や財源旗を活用して積極的にPRし、自主財源となる会費への理解を進めた。
- ②自動販売機の設置売上による自主財源確保に取り組んだ。現在、既存の自動販売機を含め、延べ9ヶ所設置。

### (2) 職員の資質向上の取り組み

- ①職員のスキルアップを目的として、外部講師の招聘による研修会の企画や県内外の社協関係者との合同研修に職員を派遣して資質向上に努めた。
- ・市町村社会福祉協議会新任職員研修
- ・市町村地域福祉実践発表会
- ・成年後見制度事業研修

### (3) 福祉現場実習生の受け入れ(人材育成)

- ①令和2年度は受け入れ対象者なし。

### (4) 地域福祉活動計画の進行管理

佐伯市地域福祉活動計画推進協議会において、令和元年度分の佐伯市地域福祉活動計画の経過報告を行った。(コロナ禍により書面決議)

## <在宅福祉課>

### 1 介護保険事業の状況

介護保険事業において、国は要介護者を対象とした介護保険制度に軸足を置き、介護予防事業は市町村に移管した。佐伯市においても自立支援の考え方に立った「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）を実施し、社協の各事業所では、要介護状態にならないための運動指導や認知症予防の取り組みを進めるとともに、職員の研修を重ね資質の向上に努めた。

また、作業療法士が利用者の個別指導や職員のさらなるスキルアップに力を入れ、利用者の日常動作の機能向上を支援した。

処遇改善加算や特定処遇改善加算を取得することで、職員に対して職務を明確にし、さらに処遇改善による手当等の増額を行いながら介護職員の定着を図った。

#### (1) 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

令和2年度は3事業所、16名の介護支援専門員（ケアマネージャー）で事業を行った。要介護者の依頼により居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービス提供事業者との連絡調整を行っている。総合事業プランについては、地域包括支援センターより積極的に受託し、地域住民の介護予防を支援した。

#### (2) 訪問介護事業（ホームヘルプ）

令和2年度から統廃合した事業所を弥生に移転し、佐伯市全域を対象に運営を進めた。主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また全て職員が行うのではなく、自立支援を目的として、できることは一緒に行うように支援した。

#### (3) 通所介護事業（デイサービス）

上浦、弥生、宇目、直川、米水津の5事業所を運営。食事・入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のための運動等を提供した。また、介護予防教室「おげんき広場」については、上浦、弥生、直川、米水津の4事業所で作業療法士が中心となり、運動指導や認知症予防プログラムへ積極的に取り組んだ。

### 2 障がい者(児)等を対象とした訪問介護事業（ホームヘルプ）

介護保険事業同様に、市と連携しながら市受託事業の障がい者福祉サービスや障害者総合支援法による身体障がい(児)者・知的障がい(児)者等への訪問介護サービスを提供した。

### 3 受託事業の状況

#### (1) 高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業

入居者に対し生活援助員を配置し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援した。

(2) 地域包括支援センター受託に向けての協議

市との協議を重ねた結果、令和3年度から第2.3圏域の地域包括支援センターを受託することとなった。

第2圏域 弥生、本匠、宇目、直川 第3圏域 鶴見、米水津、蒲江

(3) 食の自立支援事業（配食サービス）

調理が困難な高齢者等に対し、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を行った。

4 処遇改善への取組み

介護職員処遇改善加算Ⅰについては継続して算定。令和元年10月から新規算定できるようになった介護職員等特定処遇改善加算の研究を行い、令和2年4月から特定処遇改善加算を取得。職員のさらなる処遇改善に努めた。

5 現場実習生の受け入れ(人材育成)

介護支援専門員の現場実習生の受け入れを行った。

6 佐伯市SOSネットワーク事業への協力

佐伯市との「佐伯市SOSネットワーク事業に関する協定」に基づき、徘徊事案が発生した場合、相互に協力する体制を築くことで、対象者が安心して暮らせる地域社会づくりへの協力を行った。

## <施設福祉課>

### 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

豊寿苑の理念のもと、入苑者の生活の質を向上させることに努め、重度者に対応した職員のスキルアップと介護技術の向上のための研修、新任職員を対象とした研修を強化した。「ノーリフティングケア」の導入に向けての取り組みとして、研修会への参加や先進施設の見学を行い、移乗の時に使用するスライディングボードを導入した。

感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止のため、面会者の全面制限、職員の出勤時の検温や健康チェック表の活用（県外在住者と接触した時に、一週間の健康状態の観察、昼食を別室にする等）、体調管理・体温測定記入表の活用（一日二回の体温測定）を行った。その結果、新型コロナウイルスはもちろんのこと、インフルエンザによる感染も抑えることができた。

施設行事は、盆踊り・花火大会や家族交流会など外部との交流事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。しかし、その中でも各フロアで工夫を凝らし、小規模ではあるが、季節の行事などを行った。

また、豊寿苑での様子を地域へ発信するため、広報誌やホームページ、フェイスブックを活用し、リアルタイムで苑での活動を紹介した。

1. 入苑者の概要（各年度末統計）

(1) 年間の平均入所者数

年 度	従来型 (79)	ユニット型 (21)	合計 (100)
令和2年度	76.58 人	20.33 人	96.91 人
令和元年度	71.00 人	20.92 人	91.92 人
平成30年度	74.17 人	20.42 人	94.59 人

(2) 平均年齢

性別	従来型	ユニット型
男 性	80 歳 7 月	90 歳 11 月
女 性	87 歳 0 月	90 歳 7 月
全 体	85 歳 11 月	90 歳 7 月

(3) 要介護度別の割合

要介護度	R2 年度 入苑者の割合		R2 年度 全 体	R1 年度 全 体
	従来型 (79)	ユニット (21)		
要介護 1	1.32%	0.00%	1.04%	2.02%
要介護 2	5.26%	0.00%	4.17%	3.03%
要介護 3	11.84%	30.00%	15.62%	23.23%
要介護 4	48.68%	60.00%	51.04%	45.46%
要介護 5	32.90%	10.00%	28.13%	26.26%



## 2. 職員の研修状況

### ①外部研修

期 日	研修名	場 所	職 種
R2.6.10	ノーリフティングケアマネジメント研修	大分県介護研修センター	苑長・介護長
R2.6.30	新型コロナウイルス感染症の感染管理に関する オンライン研修	豊寿苑	看護職員
R2.7.3	福祉用具・介護ロボット等研修	大分県介護研修センター	介護職員
R2.7.8	佐伯市介護支援専門員協会第1回理事会	佐伯市保健福祉センター「和楽」	苑長
R2.7.29	ノーリフティングケア推進施設実地研修	特別養護老人ホーム 四季の郷	介護職員
R2.8.21	令和2年度危険物取扱者保安講習	三余館	介護職員
R2.8.28～ R3.1.22	介護支援専門員更新研修	大分県介護研修センター	介護支援専門員
R2.9.16	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	大分県看護研修会館	看護長
R2.9.23	老施協施設長研修会・臨時総会	大分県総合社会福祉会館	苑長
R2.10.14	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	大分県看護研修会館	看護長
R2.10.14	佐伯市介護支援専門員協会第3回理事会	佐伯市医師会館	苑長
R2.10.21	喀痰吸引研修	ケアサポート学院	看護長・介護職員
R2.11.11	社会福祉施設向け感染症対策研修会	ホテル金水苑	看護長
R2.11.18	佐伯市介護支援専門員協会第4回理事会	佐伯市医師会館	苑長
R2.11.20	対人援助技術研修会	佐伯市医師会館	苑長
R2.12.9	佐伯市介護支援専門員協会第5回理事会	オンライン会議	苑長
R3.1.13	佐伯市介護支援専門員協会第6回理事会	オンライン会議	苑長
R3.2.17	佐伯市介護支援専門員協会第7回理事会	佐伯市医師会館	苑長
R3.2.26	医療知識研修会	佐伯市医師会館	苑長
R3.2.4	地域連絡会議	佐伯市保健福祉センター「和楽」	係長
R3.2.18	第1回佐伯豊南高校ネットワーク会議	佐伯豊南高校	係長
R3.3.28	2021年度 介護報酬改定について	大分県社会福祉介護研修センター	管理栄養士

## ②内部研修

期 日	内 容	職 種
R2.5.14	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R2.5.21	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R2.5.21	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R2.6.23	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.2.1	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R2.5	現任研修(人権・接遇について)	全職員
R2.7	現任研修(認知症について)	全職員
R2.9	現任研修(身体拘束・虐待防止、褥瘡予防について)	全職員
R2.11	現任研修(感染症について、急変時の対応について)	全職員
R3.1	現任研修(感染症・褥瘡予防について、嘔吐物の処理方法)	全職員
R3.3	現任研修(リスクマネジメントについて、危険予測)	全職員

### 3. 介護職員現場実習生の受け入れ（人材育成）

高校からの依頼により、介護職員初任者研修の現場実習生の受け入れを行った。  
（佐伯豊南高校より、17名）

令和3年度には、佐伯豊南高校より2名の新卒採用を行い、介護人材確保につなげることができた。